

〒260-0013
 千葉市中央区中央3-4-8 コーノビル4F
 電話:043-224-8155 FAX:043-225-2271
 Eメール:chiba@tokyo-np.co.jp

市川 047-334-4151 銚子 043-224-8155
 船橋 047-410-1631 木更津 0438-25-6501
 松戸 047-344-0117 柏 04-7164-0057
 成田 0476-23-0866

読者の申し込み:0120-026-999 集金・配達お問い合わせ:03-6910-2556 広告のご用命:043-225-6411

諸願祈願
鹿野山神野寺
 ☎0439(37)2351

千葉中央

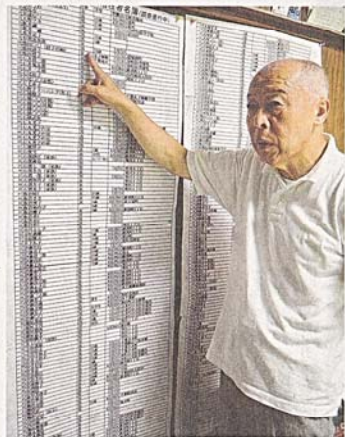
東海大望洋青れ青れ青れ

名簿作成へ情報提供求める

千葉空襲は、四五年六月十日と七月七日に米軍のB29爆撃機計百五十六機が来襲し、約九百人が犠牲になったといわれている。しかし、犠牲者数は定かではなく、昭和天皇に報告された犠牲者数は八百九十人とされた一方、中央公園にある復興記念碑には死傷者約千六百人とある。正式な名簿もない。千葉空襲を伝える活動をしている市民団体「千葉市空襲と戦争を語る会」事務局の伊藤章夫さん(左)は「きちんとした犠牲者の数も名前も分からない。空襲の犠牲者の戦後処理は終わっていない」と話す。伊藤さんは二〇〇九年から犠牲者の名前を確認する作業を続け、現在、約七百人の名前を確認した。

**市民グループが
来年建立を目指す**

太平洋戦争末期の1945年、米軍による2度にわたる千葉市への空襲で犠牲になった市民の名簿を作成し、犠牲者の名前を刻んだ祈念碑を建てようと、市民らが活動が続けている。犠牲者の情報提供を求めるとともに、戦後70年を迎える来年の祈念碑完成を目指している。(砂上麻子)



「千葉市空襲の犠牲者名簿を作成する最後の機会」と話す伊藤章夫さん(千葉市中央区)

犠牲者名 祈念碑に刻む

これまでの作業で、空襲で家族六人が亡くなったとされていた一家が生きていることが判明。伊藤さんらは戦争関連の行事などで名簿を公開し、犠牲者の情報提供を求めている。伊藤さんは、空襲を体験した人が高齢化している現状を踏まえ「戦後七十年を迎える来年が最後の機会になる」と強調。今年七月、名簿作成と祈念碑建設に取り組むための実行委員会を結成した。祈念碑は、千葉都市モノレール霞川公園駅近くに設置を予定している。建設費用やデザインなどは専門家や市民の意見を聞いて進める。問い合わせは伊藤さんへ。電話080(5305)3739へ。

戦争末期 千葉空襲

県人口

県の四月一日現在の住民基本台帳に基づき、人口は、六百二十四万四千四百五十五人で前年度を三千九百九十四人(0.06%)上った。東日本大震災後、二年連続で減少していたが、三年ぶり増加に転じた。県の人口は戦前に計を取りだして以降増加の傾向をたどってきたが、震災の影響で、年間の人口増減二〇一一年に減少に転じた。二二年度は前年度から一万九千八百二十二人(0.30%)、一三年度は同一万七千六百七十八人(0.28%)それぞれ減っていた。今回、増加に転じたことについて、県統課の担当者は「震災に転入から転出を引



サルビアの赤い花ひらが満開。奥のピンク色はベチューニア＝富津市で

観客席から仲間を見つめた井出将輝